

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響



Conductor **SYLVAIN CAMBRELING**

Mezzo-Soprano **KAREN CARGILL** Concertmaster **KOTA NAGAHARA**
SCHUBERT: "Rosamunde" Overture / BERLIOZ: Les nuits d'été, op. 7
SCHUBERT: Intermezzo No.3 and Ballet Music No.2 from "Rosamunde"
BEETHOVEN: Symphony No. 8 in F major, op. 93
POPULAR SERIES No. 597 / Fri. 14th Oct. 2016 19:00 / Suntory Hall

舞い上がる香りとリズム —ウィットに富んだ珠玉の名曲選—



指揮 **シルヴァン・カンブルラン**
メゾ・ソプラノ **カレン・カーギル** コンサートマスター 長原幸太

シューベルト: 劇音楽「ロザムンデ」序曲
ベルリオーズ: 夏の夜 作品7
シューベルト: 劇音楽「ロザムンデ」から「間奏曲第3番」、「バレエ音楽第2番」
ベートーヴェン: 交響曲第8番 へ長調 作品93

2016 **10/14** (金) 19時開演 **サントリーホール**
S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥3,600

読売日本交響楽団 第597回 名曲シリーズ



読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)
<http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

シルヴァン・カンブルラン(指揮)

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導く名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、既に高い評価を得ている。現在、世界有数のオペラハウスであるシュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クラウンフォーラム・ウィーン的首席客演指揮者も兼任している。ベルギー王立モネ歌劇場の音楽監督、フランクフルト歌劇場の音楽総監督、バーデンバーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者を歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ミュンヘン・フィルなどの世界の一流オーケストラに客演するほか、ザルツブルク音楽祭、メトロポリタン・オペラ、パリ・オペラ座などでも活躍している。録音にも積極的で、SWR響などと多数のCDをリリース。読響との《春の祭典/中国の不思議な役人》は「レコード芸術」誌の特選盤に選ばれるなど、絶賛を博した。2015年3月には、読響を12年ぶりの欧州公演へ導き、各地で成功させた。

自在無敵。 カンブルラン&読響、 深まる絶妙な呼吸感

加藤浩子(音楽評論家)

自在無敵。

シルヴァン・カンブルランと読響の組み合わせを思うと、そんな表現が心に浮かぶ。昨今の読響の好調ぶりは、多分に常任指揮者カンブルランのおかげだ。彼との共同作業が始まってから、読響の音作りはより自在になり、深みと広がりを獲得した。とりわけ注目されるのが、歌劇場指揮者として世界屈指のキャリアを誇る彼のもとでつちかわれた劇性と、豊かで繊細な色彩感、そしてリズムの感覚も含めた絶妙な呼吸感だ。カンブルランの作る音楽には、思わず引き込まれる瞬間が「あうんの呼吸」と呼びたくなる巧みさで配されていて、どんどん巻き込まれていってしまうのである。

10月14日(第597回名曲シリーズ)でカンブルランが準備しているのは、19世紀前半を彩る劇的、そして構築的な音楽の組み合わせ。前半は、近年オペラ作曲家としての魅力も再発見されているシューベルトの劇付随音楽《ロザムンデ》のハイライトに、ベルリオーズの《夏の夜》を組み合わせた独創的な構成だ。2曲とも、作曲者の劇的感性におけるオリジナリティが発揮された名曲だが、明快なシューベルトにニュアンスに富むベルリオーズと、肌触りはかなり対照的。今回のプログラミングで、そのコントラストが鮮やかに浮かび上がるに違いない。パワフルでドラマティック、かつスモーキーな声を持ち、マーラーやワーグナーの大曲で活躍する大型メゾ・ソプラノ、カレン・カーギルが聴けるのも楽しみだ。

後半は、かっちりとした形式を守りつつ、推進力と躍動感、そして遊び心にあふれたベートーヴェンの交響曲第8番。カンブルランならではの知的興奮が堪能できそうだ。

一味も二味も考え抜かれた今回のプログラムで、旬を迎えたカンブルラン&読響の醍醐味をぜひ。



カレン・カーギル(メゾ・ソプラノ)

芯の強い温かな声を持ち、欧米で華々しく活躍するスコットランド出身のメゾ・ソプラノ。2002年にキャスリーン・フェリア賞を受賞。以後、オペラやコンサートで活躍している。これまでに、マズア、ハイティンク、ゲルギエフ、レヴァイン、ルイーダ、ラトルらの指揮で、ベルリン・フィル、ロンドン響、ボストン響、バイエルン放送響、シカゴ響などと共演したほか、メトロポリタン歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、ベルリン・ドイツ・オペラなどの一流歌劇場に出演。2015年7月には、ネゼ＝セガンの指揮するウィーン・フィルとのブルックナーのミサ曲第3番でザルツブルク音楽祭にデビューを果たした。2016年9月には、ガッティ指揮ロイヤル・コンサートベロウ管とマーラーの交響曲第2番「復活」で共演する。今回が、読響との初共演になる。

©K K Dundas

読売日本交響楽団 第597回 名曲シリーズ

2016年10月14日(金) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥3,600

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

サントリーホール30周年
記念参加公演

Hibiki to the World

SUNTORY HALL

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットびあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017